

■令和6年度 第5回岐阜市地域福祉推進委員会

第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果について

令和7年2月7日



第2期岐阜市地域福祉推進計画の概要	3 p
重点項目の目標に対する進捗状況	4 p
重点項目（1）総合的な相談体制の構築	6 p
重点項目（2）岐阜市成年後見センターの設置	10 p
重点項目（3）社会福祉法人連携・協働の基盤づくり	12 p
重点項目（4）担い手の育成と発掘	16 p
成果指標の結果	20 p
第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果（総括）	22 p

第2期岐阜市地域福祉推進計画の概要

基本理念

「手をつなごう 誰もが安心していきいきと
心豊かに暮らせる 市民が主役のまちづくり」

1 つめの柱 『人』 づくり

- 施策1-①：知るから始まる人づくり
- 施策1-②：地域福祉を担う人財づくり
- 施策1-③：地域組織・市民団体への活動支援

2 つめの柱 『場』 づくり

- 施策2-①：孤立を防ぐ場づくり
- 施策2-②：生きる力を育む場づくり
- 施策2-③：人の交流・つながる場づくり

3 つめの柱 『体制』 づくり

- 施策3-①：身近な相談窓口の充実
- 施策3-②：困りごとに対応する体制づくり
- 施策3-③：災害時など緊急時の助け合いの体制づくり

重点施策

困りごとを受け止める体制づくり

～地域共生社会の推進に向けて～

重点項目（1）

困りごとに対し、社会全体で支える
総合的な相談体制の構築

重点項目（2）

成年後見制度の利用促進を図る
岐阜市成年後見センターの設置

重点項目（3）

社会福祉法人の専門性・情報・場所を地域で活かす
社会福祉法人連携・協働の基盤づくり

重点項目（4）

地域福祉を支える
担い手の育成と発掘

重点項目の目標に対する進捗状況

重点項目(1)	令和6年度 までの目標	令和2年度	令和3年度
総合的な相談体制 の構築	第1段階 令和2年度までに ファーストタッチの 土台づくり 第2段階 令和3年度までに 困難事例に向けた対応 の実践 以降、さらなる体制強化	«第1段階» 地域福祉コーディネーター配置 福祉健康窓口 ヘルプデスク設置	«第2段階» 福祉まるごと支援員 設置
重点項目(2)	令和3年度までに 岐阜市成年後見 センターの設置 以降、 センターの効果的な運営	センター設置検討会議 開催	岐阜市成年後見 センター設置
重点項目(3)	社会福祉法人との 連携活用事例創出数 5件以上	- 社会福祉法人連絡会 設立準備委員会開催 - 情報誌「かわらばん」発行	社会福祉法人連絡会 設立 ★広報事業(リーフレット) ★研修事業
重点項目(4)	福祉協力団体の 取り組み創出数 5件以上	出会いと学びの講座 - 加納東地区 - 加納西地区	ボランティア金華助け愛隊 ★金華地区

令和4年度	令和5年度	令和6年度取組状況	達成状況
重層的支援体制整備事業開始 福祉まると支援員が対応したケース 37件	福祉まると支援員スーパーバイザー配置 福祉まると支援員が対応したケース 49件 一歩手前の居場所づくり 3件	R6.12月末現在 福祉まると支援員が対応したケース 55件 福祉相談窓口連携会議の充実	達成
センターへの相談件数 878件 後見制度につなげた実績 5件	センターへの相談件数 1,001件 後見制度につなげた実績 12件	センターへの相談件数 832件 後見制度につなげた実績 6件	達成
★災害備蓄品活用事業 ・「公益的な取組みパンフレット」 ・交流会/勉強会	福祉ニーズの把握及び地域課題解決の取り組み ★地域のキーパーソンとの交流事業 ★4つの部会設置（事業協議）	・4つの事業部会の開催、運営 ★社会福祉法人利用ガイドの作成	達成(6件) ★印
地域のちょこっとお助け隊 ★藍川地区 ★岩野田北地区	子ども福祉委員の育成 ★加納西地区 ★華陽地区	地域のちょこっとお助け隊、子ども福祉委員の活動支援	達成(5件) ★印

重点項目（１）総合的な相談体制の構築

▶ 重層的支援の体制（Ｒ４～）

概要

背景

8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーなど
複雑・複合化した課題や制度の狭間の支援ニーズの**増加**

⇒従来の分野別の体制、単独の支援機関での解決は困難



包括的な支援体制を構築

- ・ **重層的支援推進室**を設置（Ｒ４）
- ・ 各機関の連携・調整役として、**福祉まるごと支援員**を配置（全５名）
- ・ 支援関係機関で構成する「**福祉相談窓口連携会議**」の開催（毎月）



各支援機関が連携を強化して困難事案に対応

- ・ 「**断らず受け止める**」相談支援
- ・ 既存の制度・ノウハウを最大限活用
- ・ アウトリーチ等による**つながり続ける支援**の充実

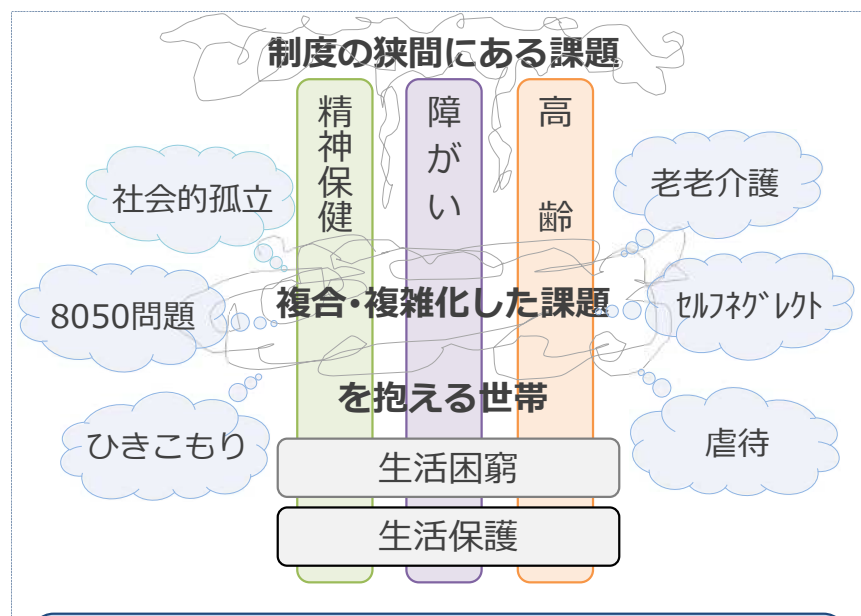
▶ 困難事案への対応

👉 福祉まるごと支援員を中心として、チーム体制で包括的に支援

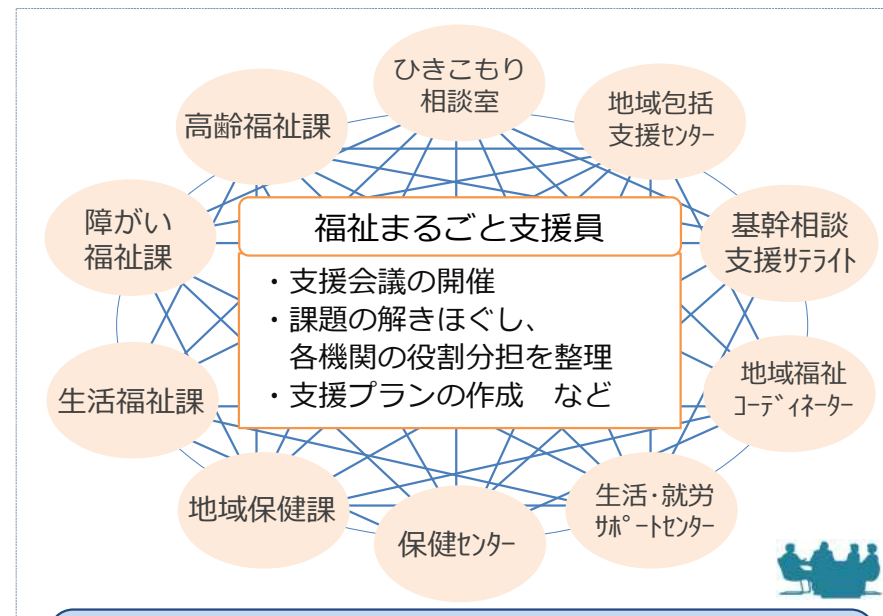
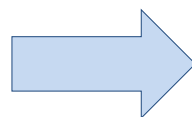


- ・市社協に在勤4人（スーパーバイザー1人、エリア担当3人）
- ・市役所に常駐1人（重層的支援推進室）

福祉まるごと支援員の主な役割



○課題が絡み合ってもつれた状態
➡ どの機関が何をしてよいか分からない



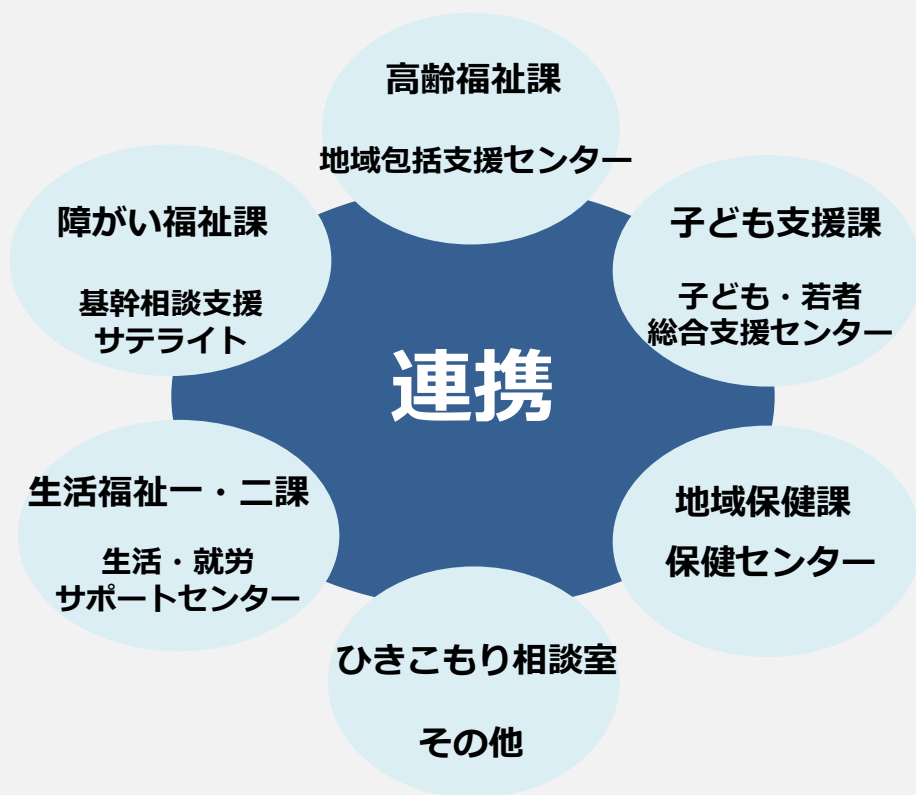
○福祉まるごと支援員が仕切り役となり、課題を包括的に受け止める網を形成

全体の調整機能を果たし、支援機関をサポート

▶ 支援機関同士の連携強化

福祉相談窓口連携会議

庁内外 **46** の支援機関で構成



毎月、約**60**名が参加

★分野横断的に**つなげる・つなぎなおす**ための取組み

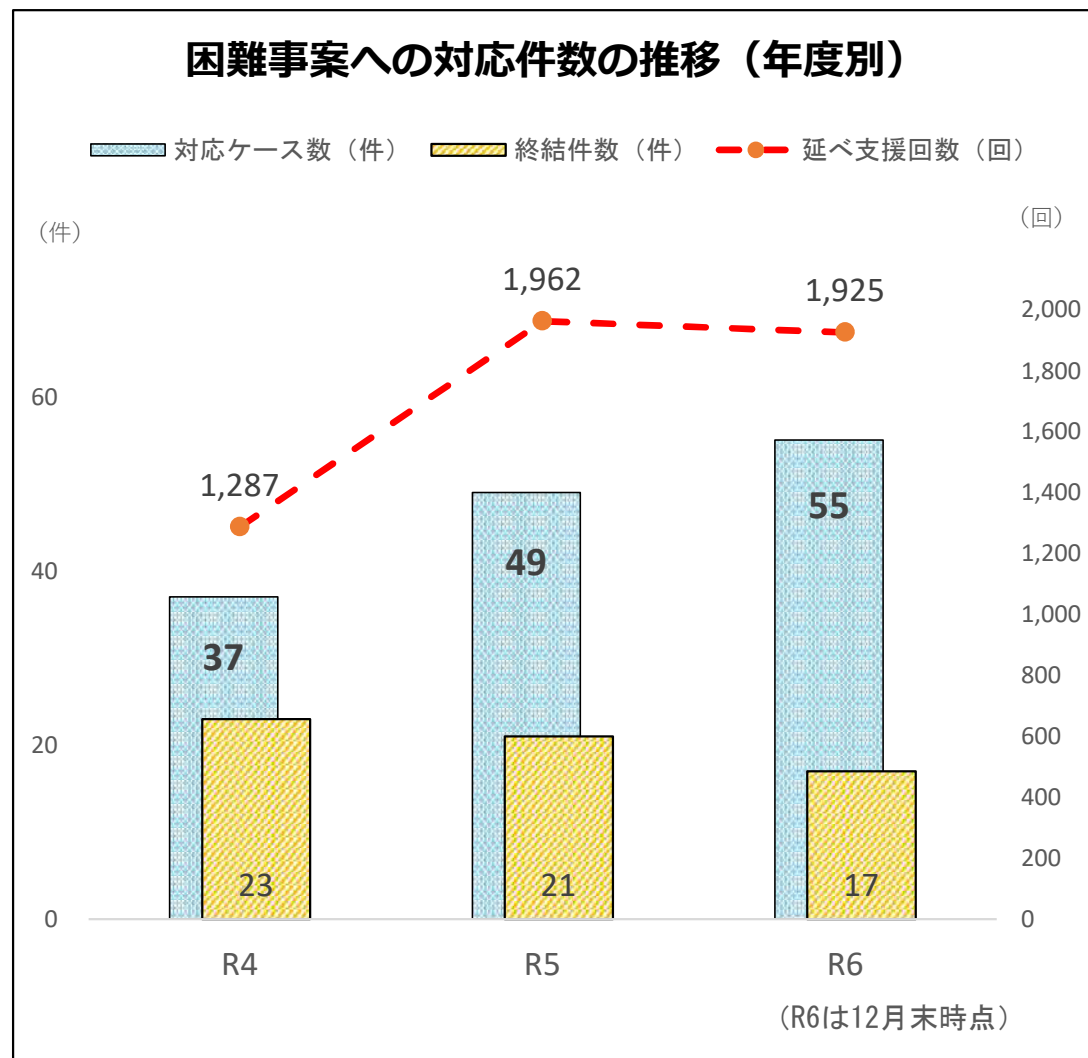
- ◆毎月、開催
⇒ 顔の見える関係づくり
- ◆事例を用いたグループワーク
⇒ 互いの分野・機関の制度や業務を習得
⇒ 支援者のスキルアップ
⇒ 一体感の醸成

支援機関同士のネットワーク構築



グループワークの様子

▶福祉まるごと支援員の活動実績



▶ R4からの対応ケース数の推移
複雑・複合化した困りごとは年々**増加**

▶ 1 ケース当たりの平均支援回数
37回（R4～R6の延べ支援回数の合計/対応ケース数の合計）

☞当事者に寄り添った、伴走型支援の実施



▶ 支援が軌道に乗り一旦**終結**
61件（R4～R6の終結件数の合計）

☞チーム体制による支援が着実に進展



重点項目（２） 岐阜市成年後見センターの設置

▶ 岐阜市成年後見センターの開設及び実績

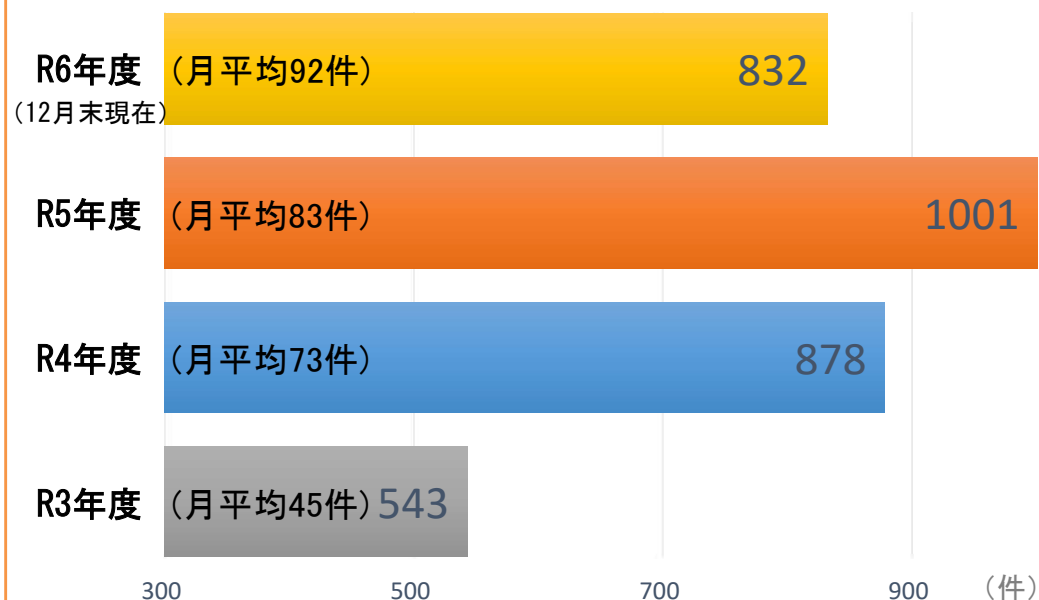
■ 開設 令和3年4月

社会福祉士 3 名を配置（岐阜市社会福祉協議会に委託）

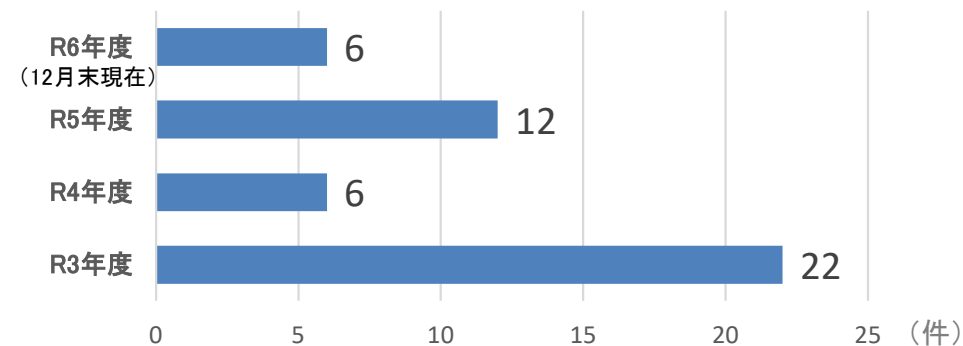
■ 主な業務

- ・ 講演会や研修会などを開催し、成年後見制度を**周知・啓発**
- ・ 成年後見制度に関する様々な**相談支援**
- ・ 成年後見人と福祉関係者をつなぐ**後見人支援** など

■ 相談件数



■ ケース検討会議



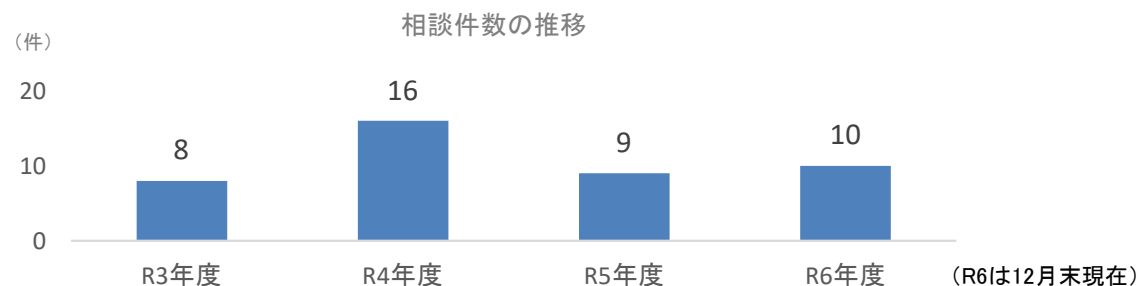
市長申立てを予定しているケースを中心に、支援の方向性や受任する専門職の調整等を実施

出席者

弁護士・司法書士
社会福祉士・岐阜市社会福祉協議会

■ 専門職による成年後見制度に関する相談会

弁護士、司法書士、社会福祉士、行政書士(R5年度～)による無料相談会を毎月実施



■ 市民向け成年後見制度に関する講演会 参加者延べ348名

年度	演題	講師
R6	「成年後見制度と相続」	司法書士
R5	「後見人って 何やっとするの?～成年後見制度と実際の後見活動～」	社会福祉士
R4	「成年後見制度と遺言について」	司法書士
R3	「今、知っておきたい成年後見制度」	弁護士

■ 福祉関係者向け成年後見制度に関する研修会 参加者延べ244名

実施回数：毎年2回

内容：専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）が講師となって福祉関係者向けに研修を実施

■ 岐阜市成年後見センター ネットワーク構築会議

目的：職種を超えた連携と
ネットワークづくり

実施回数：年1回

内容：成年後見センターの
活動実績報告や意見交換会を実施

重点項目（３）社会福祉法人連携・協働の基盤づくり

▶ 岐阜市社会福祉法人連絡会の取り組み①

設立

令和3年10月5日

加入法人数

27法人（市内45法人中）

●広報事業（R3～）

内容：メール情報誌「かわらばん」年4回 延べ12回配信
リーフレット作成 R4.2月 3,000部発行
パンフレット作成 R5.2月 500部発行
R6.1月 1,000部増刷



●研修事業（R3～）

内容：毎年テーマを設け、他市の先進的な公益的取り組みを学び、連絡会活動の活性化に向けた研修会を開催

年度	テーマ	参加法人数
R3	「大規模災害と地域連携」	17法人24名
R4	「なぜ社会福祉法人は公益的な取り組みをしなければならないのか」	11法人20名
R5	「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み ～地域とのつながり～」	12法人22名
R6	「地域の安全は地域で守る！ ～コミュニティを崩さない～」	14法人24名



▶ 岐阜市社会福祉法人連絡会の取り組み②

● 災害備蓄入替品活用事業（R4～）

内容：岐阜市の災害備蓄用品の経年入替に伴う放出品を、地域における公益的な取り組みや、各法人の防災意識向上に活用することで、岐阜市社会福祉法人連絡会として、岐阜市の災害備蓄用品（アルファ化米、バランス栄養食、飲料水など）のローリングストックに協力

年度	法人数	内訳				
		アルファ化米	クラッカー	バランス栄養食	飲料水	大人用オムツ
R4	11法人	28箱	14箱	19箱	34箱	—
R5	8法人	24箱	8箱	12箱	67箱	82袋
R6	12法人	32箱	96箱	44箱	64箱	—



▶ 岐阜市社会福祉法人連絡会の取り組み③

●地域のキーパーソンとの交流事業（R5～）

内容：法人を「地域の担い手」として捉えてもらい、互いのニーズや地域課題に共に取り組んでいくために、地域福祉を担っているキーパーソンと連絡会加入法人との顔の見える関係を構築し、協働のきっかけづくりとして開催

年度	テーマ	回数	参加者数
R5	・ 社会福祉法人連絡会とは、 社協支部とは	3回 (市内を3ブロックに分け開催)	15法人32名 キーパーソン 41名
R6	・ 公益的な取り組み事例発表 ・ グループワーク（交流会）	1回 (1ブロックで開催)	10法人14名 キーパーソン 20名

〈R5年度〉



〈R6年度〉



▶ 岐阜市社会福祉法人連絡会の取り組み④

・部会の設置（R5～）

内容：加入法人が取り組みたいと思っている事業の実現に向け、小規模でより具体的な協議をする場として、以下の4つの部会を設置



居場所づくり事業部会（8法人）

- ・既存の取り組みの紹介、悩みやノウハウの共有
- ・各法人が実施する居場所の情報共有、協力体制の方法について検討

生活支援サービス事業部会（2法人）

- ・移動支援にかかる地域ニーズの把握方法について
- ・地域ニーズの共有、移動支援に関する情報収集

伴走型支援推進部会（3法人）

- ・居住支援にかかる勉強会の開催
- ・居住支援にかかる各種団体への聞き取り

総務部会（3法人）

- ・他市町村の法人の調査について
- ・加入法人が持っている資源の周知について検討

→社会福祉法人利用ガイドの作成

重点項目（４）担い手の育成と発掘

出会いと学びの講座

○地域の新たな担い手づくりを目的とした「**出会いと学びの講座**」を開催

年度	地区	参加者数	テーマ
R2	加納東	39名	「地域活動を知って、無理なく楽しくボランティア活動」
	加納西	32名	「無理なく続ける見守り活動」
R4	金華	27名	「身近な助け合い」
	鏡島※	20名	「高齢者の見守り」
R5	白山	38名	「地域活動を知って、無理なく楽しくボランティア活動」
R6	—	—	※講座実施に向け、社協支部と調整中

※〈取組事例〉 ○鏡島支部

R4 鏡島のまちづくりについてアンケート調査

→現在困っていること、将来困ると思われることに対する主な回答

- ・ 高齢者の見守り体制、移動手段の確保など



高齢者の見守りをテーマに「**出会いと学びの講座**」を開催

- ・ 子どもから高齢者までがお互いに見守り、支え合える体制づくりを検討
- ・ ふれあい・いきいきサロンに児童や高齢者が参加し、交流



福祉出前講座

- 市社協全体で実施できる講座を取りまとめた「福祉出前講座リスト」の作成し、社協支部の支部長・主事に配布し、「福祉出前講座」を開催

年度	実施回数
R2	39回
R3	50回
R4	112回
R5	150回
R6	131回

(R6は12月末現在)



講座タイトル（抜粋）	
ふれあい・いきいきサロンについて	
福祉委員活動について	
社協支部活動全般について	
福祉ってどんなこと？	
車いす体験	
ボランティアを始めよう！	※
成年後見制度について	
日常生活自立支援事業について	

※ 〈取組事例〉 ○金華支部

- R2 **金華地区の課題**について**アンケート調査**
R3 **ボランティア**に対するニーズや参加意向について**アンケート調査**
⇒ボランティア活動全般について「福祉出前講座」を実施



生活支援サービスの立ち上げ準備、担い手の発掘などを実施

- #### R4 「ボランティア金華助け愛隊」⇒活動スタート！



活動内容：草刈、枝払い、ごみ分別・搬出、電球交換、
家具移動、買い物サポート、話し相手 他

利用料金：無料

人員体制：コーディネーター 2名
ボランティア 33名

実績：R4 39件
R5 20件

福祉教育

○市社協に依頼があった小・中学校などへ出向き、**福祉体験学習**を実施

年度	小学校		中学校		大学・地域団体等		計	
R2	18校	延べ29回	1校	延べ1回	3カ所	延べ4回	22カ所	34回
R3	19校	延べ27回	1校	延べ1回	2カ所	延べ2回	22カ所	30回
R4	23校	延べ51回	4校	延べ9回	1カ所	延べ1回	28カ所	61回
R5	27校	延べ70回	4校	延べ11回	2カ所	延べ4回	33カ所	85回
R6	31校	延べ70回	5校	延べ8回	2カ所	延べ3回	38カ所	81回

(R6は12月末現在)

〈目指した取組〉学校から依頼を受け、**地域を巻き込み**ながら**福祉教育を展開し**、
子どもが**地域で活躍できる場**を創出
⇒**2つのモデル的取組（地域のちよこっとお助け隊、子ども福祉委員）の実施**

1 地域のちよこっとお助け隊（藍川地区・岩野田北地区）

・参加児童と地域住民からなる**チーム**で、地域の課題を探り、**よりよい地域づくり**のための方策を一緒に考えながら活動

①出発式

児童と地域住民の顔合わせ
→チーム結成

②話し合い

チームで地域の課題や
対応策について検討

③実践

話し合いで出た対応策を具体化
するための準備や作業等の活動

④振り返り

実践した活動を地域福祉活動への
落とし込み→未来の地域づくりへ

藍川支部

「地域にある施設や公園で、幅広い年代の人がしぜんと集える場所を作りたい!」
という願いのもと、子ども主催の交流会を開催。
翌年にはサロンへの参加の他、中学生を対象として支部が行う生活支援サービス
（草引きや、ゴミだしなどの助け合い活動）に参加する取り組みもスタート。



2 子ども福祉委員の育成（加納西地区・華陽地区）

小学生を対象に福祉教育を通じて、**地域の将来や自分たちにできることを考え、行動する機会をつくる**とともに、地域福祉の担い手として活躍できる人材育成に取り組む。

- 〈事業概要〉
- 小学校での福祉体験学習にとどまらず、校外での福祉活動への参加を想定し、福祉教育を通じて「**子ども福祉委員**」を育成する。
 - 地域が受け皿となり、地域活動の情報を発信し、児童が地域の担い手として自主・自発的な活動をする仕組みをつくる。

① 福祉体験学習の実施

福祉講話、車いす体験などを社協支部、民生委員・児童委員、老人クラブ、地域にある事業所、地域包括支援センター等と協力して実施

② 活動内容の検討

子どもたちの主体性を尊重し、「やってみたい！」に応える活動を検討

③ 子ども福祉委員の活動

「もっと活動したい！」と考えた子どもたちと地域と一緒に活動を実施

華陽支部

・資源回収ボランティア

毎月第1月曜日にひとり暮らしの高齢者宅を訪問し、回収場所まで資源ごみを運搬



・ふれあい・いきいきサロン

「お華ばたけ」お手伝いボランティア

毎月第1土曜日開催のサロンで参加者のお出迎えや、資料配布等のお手伝い

地域のつながり・支え合いに向けた支援

★地域活動の活性化に向けた後方支援（地域福祉コーディネーターの活動）

令和6度の重点取組事業	目標値	達成状況
福祉教育の推進事業	50件	71件
地域における担い手の育成事業	5件	10件

（R6年は12月末現在）

**地域のちょこっとお助け隊や
子ども福祉委員の育成**
福祉教育を受けた子どもたちが地域で活躍

成果指標の結果

👉 1つ目の柱 「人」づくり

出所：令和6年度市民意識調査結果報告書

成果指標	平成30年度結果	令和6年度結果	比較
① 学生などの若者による活力のあるまち だと思う人の割合	12.6%	7.8%	 DOWN
② 自治会などの地域活動に参加している人 の割合	47.7%	48.8%	 UP

👉 2つ目の柱 「場」づくり

成果指標	平成30年度結果	令和6年度結果	比較
③ 自治会などの地域活動の盛んなまち だと思う人の割合	31.8%	21.3%	 DOWN
④ 困りごとがあったときに相談したり、災害 などの「いざ」というときに助け合える関係 がお住まいの地域にある人の割合	52.7%	40.1%	 DOWN

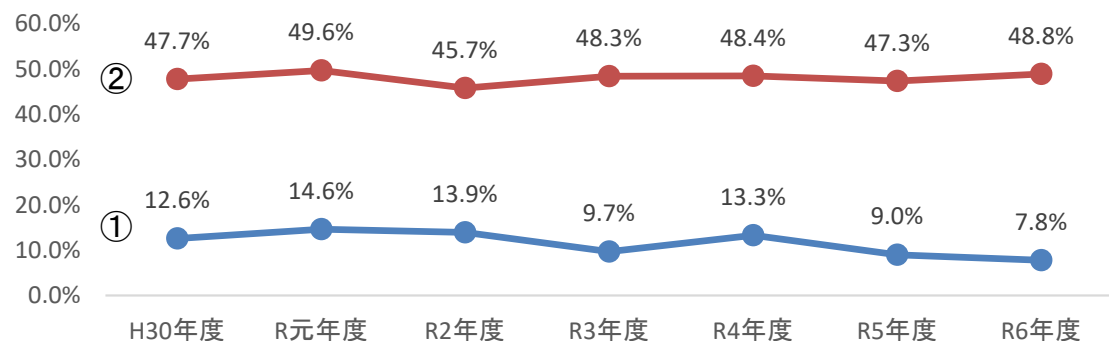
👉 3つ目の柱 「体制」づくり

成果指標	平成30年度結果	令和6年度結果	比較
⑤ 高齢者や障がいのある人にとって 暮らしやすいまちだと思う人の割合	37.6%	30.4%	 DOWN
⑥ 災害に対して安全なまちだと思う人 の割合	47.0%	32.2%	 DOWN

計画策定時（H30年度結果）からの推移

出所：市民意識調査結果報告書

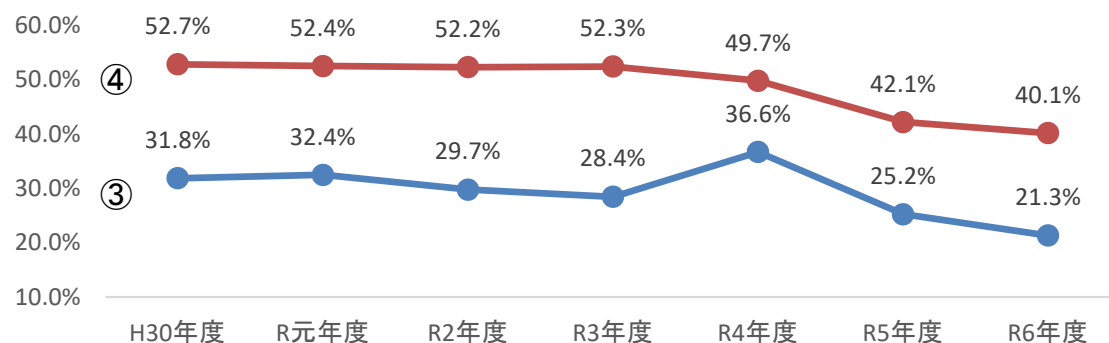
1つ目の柱 「人」づくり



▶ ニーズに合った活動やグループの広がりが進む

▶ 若年層の地域離れが進行（担い手不足）

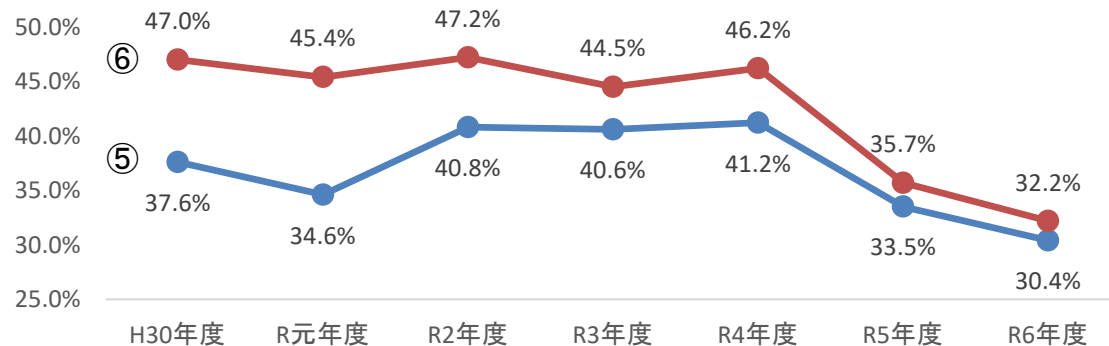
2つ目の柱 「場」づくり



▶ 近隣関係、地域のつながりや結びつきの希薄化

▶ 地域活動等の情報が十分に届いていない可能性あり

3つ目の柱 「体制」づくり



▶ 人との関わりが薄れ、災害時の助け合いや避難に対する不安が増幅

▶ 困りごとが複雑・多様化し、将来的な不安が増幅

第2期岐阜市地域福祉推進計画の取組結果（総括）

成 果

■ 総合的な相談体制の構築

・福祉まるごと支援員を中心とした支援体制の構築により、8050問題など困難事案へのチーム支援が進展

■ 岐阜市成年後見センターの設置

・同センターの開設と周知・啓発により、成年後見制度に関する相談や利用が促進

■ 岐阜市社会福祉法人連絡会の設立

・社福法人と地域の交流会や部会での協議が進み、地域ニーズに応じた公益的な取組が進行

■ 担い手の育成

・小学校や社協支部などが協働して福祉教育を実施し、お助け隊や子ども福祉委員を育成

課 題

■ 社会構造の変化や自治会加入率の低下などにより 人と人のつながりが希薄

➡普段からの付き合いや横断的なつながりづくりが必要

■ 福祉に対する意識や「お互いさま」意識が低下

➡地域福祉への理解と人を思いやる心を育むことが必要

■ 誰にも相談できない、社会的に孤立する世帯等の増加

➡身近に相談できる人やSOSを発信した人へ寄り添った支援が必要

支え合う
地域づくり
を目指して

第3期計画
で進展